

# 令和5年度「卒業生の就職先等の進路先の意見聴取等の調査」実施報告書

## 1 調査の目的

本調査は、本学が学生に対して、在学中に身につけさせたい学力や資質・能力および養成しようとする人材像に照らして、学生の卒業後の進路・就職状況等から、教育の成果や効果を検証することを目的に実施した。

## 2 実施概要

本学の卒業生の就職先として主要な業界の企業を対象に、卒業生の職場における勤務状況に関するアンケート調査を行った。アンケート調査結果は、学内において、集計・分析のうえで、教務センター等関係機関と情報を共有し、就職支援の改善および教育改善に反映させる予定である。

## 3 実施期間

調査期間：2023年1月下旬より2023年2月中旬まで

## 4 調査方法

対面聞き取りおよびメール送付メール回収

## 5 調査（設問）内容

本学が掲げるディプロマ・ポリシーに照らして、コミュニケーション力および課題解決能力を中心とした問を設定した。

## 6 調査依頼対象企業

本学の卒業生の就職先として継続的に採用実績がある企業および本学が強みとする業界を中心に以下の4業種4社を選定した。

メーカー（建設・住宅・不動産）、金融（保険）、商社（その他商社）、流通（百貨店）※

※本学における就職支援情報ポータルサイト（キャリアタスUC）の業界分類に依る

## 7 学内担当

企業との連絡、アンケート配布・回収等の手続きおよび集計・分析については、キャリア支援センターが担当した。

### 調査概要

項目	内容
調査名	卒業生の進路先・就職先に対する意見聴取調査
調査目的	本学が学生に対して、在学中に身につけさせたい学力や資質・能力および養成しようとする人材像に照らして、学生の卒業後の進路・就職状況等から、教育の成果や効果を検証すること
調査内容	進路先・就職先による、卒業生の卒業後のコンピテンス・コンピテンシー修得度に関する評価
対象者	過年度卒業生の進路先・就職先（卒業後概ね3年程度経過）
調査方法	自記式調査
調査結果の扱い	学内において、教務センター等関係部署と情報を共有し、就職支援の改善および教育改善を図るツールのひとつとする。

注) コンピテンス：「スキル」をベースに判断。コンピテンシー：「行動」をベースに判断。

表1 企業向け調査資料 【評価表】

担当者様が、最も近い水準と思われる（太枠グレー部の）数値に（手書きで結構です）○を記してください。

分類	項目（細目）	調査①					調査②					枠組み
		会社が一般的に社員全般に求める能力（優先度と重要度）					本学卒業生の評価					
		高い	やや高い	やや低い	低い	非該当	かなり高い	高い	平均	努力が必要	未評価	
情報リテラシー	基礎学力（一般常識や教養）	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	コンピューテンス
	経理・会計の知識や資格	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	高度な専門知識や技術	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	語学力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	情報の管理・処理能力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	パソコンの操作能力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	事務処理能力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	論理的思考	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	判断力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	傾聴力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
コミュニケーション力	表現力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	コンピューター
	コミュニケーション能力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	課題発見・解決能力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	創造力・企画力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	行動力・実行力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	柔軟性・発想力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	リーダーシップ	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	積極性・主体性	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	協調性	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	セルフマネジメント	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
チームで働く力	ビジネスマナー	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	コンピューター
	責任感	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	忍耐力	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	ホスピタリティ精神	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	
	向上心・探究心	10	7	5	3	-	5	4	3	2	-	

【自由回答欄】 その他、本調査へのご意見のほか、関連して企業の採用および学生の就職に関するご意見がございましたらお寄せください。今後の就職支援業務の改善および教育支援業務の改善に役立てて参りたく存じます。

表2 集計・分析結果

分類	項目（細目）	調査①						調査②					
		会社が一般的に社員全般に求める能力（優先度と重要度）						本学卒業生の評価					
		A社	B社	C社	D社	平均	平均	A社	B社	C社	D社	平均	
情報リテラシー	基礎学力（一般常識や教養）	3	10	7	5	6.3	3	4	4	4	3.8		
	経理・会計の知識や資格	5	3	7	5	5.0	3	-	4	3	3.3		
	高度な専門知識や技術	10	-	5	5	6.7	2	-	3	3	2.7		
	語学力	5	-	5	5	5.0	3	-	3	3	3.0		
	情報の管理・処理能力	5	7	7	7	6.5	3	-	4	4	3.7		
	パソコンの操作能力	5	7	7	7	6.5	2	-	5	4	3.7		
	平均	5.5	6.8	6.3	5.7	6.0	2.7	4.0	3.8	3.5	3.4		
論理的思考力	事務処理能力	10	7	7	7	7.8	3	3	4	4	3.5		
	論理的思考	7	7	7	7	7.0	3	3	4	3	3.3		
	判断力	10	10	7	10	9.3	4	3	3	3	3.3		
	平均	9.0	8.0	7.0	8.0	8.0	3.3	3.0	3.7	3.3	3.4		
コミュニケーション力	傾聴力	10	10	10	7	9.3	4	4	5	4	4.3		
	表現力	10	-	7	10	9.0	2	4	5	3	3.5		
	コミュニケーション能力	10	10	10	10	10.0	4	5	5	4	4.5		
	平均	10.0	10.0	9.0	9.0	9.4	3.3	4.3	5.0	3.7	4.1		
課題解決能力	課題発見・解決能力	10	7	7	10	8.5	2	3	3	3	2.8		
	創造力・企画力	-	7	7	10	8.0	3	3	4	3	3.3		
	行動力・実行力	10	10	10	10	10.0	4	5	5	4	4.5		
	柔軟性・発想力	10	10	10	10	10.0	3	3	5	4	3.8		
	平均	10.0	8.5	8.5	10.0	9.1	3.0	3.5	4.3	3.5	3.6		
	リーダーシップ	7	7	7	10	7.8	4	4	3	3	3.5		
チームで働く力	積極性・主体性	10	7	10	10	9.3	3	4	5	3	3.8		
	協調性	10	7	10	10	9.3	4	5	4	4	4.3		
	セルフマネジメント	10	7	7	7	7.8	2	3	3	3	2.8		
	ビジネスマナー	10	10	7	7	8.5	3	3	4	4	3.5		
	責任感	10	10	10	7	9.3	4	5	4	4	4.3		
	忍耐力	10	7	7	5	7.3	3	4	4	4	3.8		
	ホスピタリティ精神	10	10	7	5	8.0	3	5	4	3	3.8		
	向上心・探究心	10	7	7	5	7.3	3	4	4	4	3.8		
	平均	9.7	8.0	8.0	7.3	8.3	3.2	4.1	3.9	3.6	3.7		

## 8 記述式回答

4 業種 4 社のうち、2 社から回答をえた。

### 〈金融（保険）〉

- ・昨今の就活スタイルとして志望業界や業種をかなり限定して活動される方も多く見受けられます。興味関心を越えて、視野を広く様々な企業を知ることも社会経験の一環として大切かと思われまので、是非その旨学生の皆さまにお伝えいただけると幸いです。

### 〈商社（その他商社）〉

- ・現在の環境では、様々なことを PC やスマートフォンですぐに調べることができ、そのツールを使いこなすことで知識を速やかに習得することに長けていると認識しておりますが、他方、その知識を自らに定着し継続的に昇華することは苦手としているのではないかと思います。ディベートなどで、その時点で自身持っていなければいけない知識は何かという認識や、その知識を活用するスキルを高められると良いのではないかと思います。

集計・分析の結果は以下である。

《会社が一般的に社員全般に求める能力》

- ・「コミュニケーション力（平均値 9.4）」、「課題解決能力（平均値 9.1）」が優先され、重要ととらえている結果をえた。
- ・なかでも、「コミュニケーション能力」、「行動力・実行力」、「柔軟性・発想力」については、調査対象企業全社で、10ポイント中満点の10ポイントとの回答をえており、最も優先され、重要視される項目である結果をえた。
- ・「判断力」、「傾聴力」、「積極性・主体性」、「協調性」、「責任感」についても、他の項目と比較して、優先、重要視される項目である結果をえた（10ポイント中9.3ポイント）。

《本学卒業生の評価》

- ・「コミュニケーション能力」、「行動力・実行力」が、4社平均で最も高い4.5ポイントを獲得している。
- ・「傾聴力」、「協調性」、「責任感」についても、他の項目と比較して、4社平均で比較的高い4.3ポイントを獲得している。

集計・分析の結果から以下の点が示唆された。

- ・企業が求める「コミュニケーション能力」、「行動力・実行力」、において、本学の卒業生は、4社平均で最も高い4.5ポイントを獲得していることから、企業が求める人材として企業内で評価されている点が示唆された。
- ・「傾聴力」、「協調性」、「責任感」についても、前述同様に、企業が求める人材として評価をえている点が示唆された。

一方で以下の点が課題である。

- ・「高度な専門知識や技術（2.7ポイント）」および「課題発見・解決能力（2.8ポイント）」については、他の項目と比較してポイントが低く、いわゆる学力に直結するような学習に関して企業側の期待に応えきれない点が明らかとなった。
- ・したがって、修学にあたっては、ITに代表されるような情報リテラシーをはじめ、「情報や知識を適切に理解、解釈して活用する力」を補うプログラム等が必要となろう。

高い評価をえている項目については、継続して能力を発揮する教育環境づくりをさらに強化し、不足している点については、本学の教育カリキュラムのなかで補いながら、企業が求める人材を育成し輩出していく方針としたい。

なお、以上をふまえて、今後は、教務センター等関係機関と情報を共有し、就職支援および教育の改善へむけた全学的な取り組みによって、ディプロマ・ポリシーのさらなる達成を目指すものである。